

は上体の体型と上肢の三角筋の形に影響されることの実証を得た。

46. 衣服構成上よりみた日本青年女子の体型研究 腕ぐりと、上腕部の形による袖山の高さ と袖山の位置設定

広島女子短大 杉原 菊代
○小池美枝子

1. 腕付根付近(前身大胸筋, 後身大円筋小円筋及び上肢三角筋を含む)の体型を考察し, 袖の構成における基礎となる袖山の高さ及び袖山の位置設定を行なう。

2. 本学学生(18才~20才)88名の上体及腕の体型を立体採寸布(生木綿)により構成し, 上体体型は前後の立体採寸布の脇線と腕ぐりに生じるダーツをぬい, 得られた図形をもととし, 腕の立体採寸布は平面展開をおこない両者を比較考察する。

3. 腕付根(大胸筋, 大円筋小円筋部)の形態は昭和35年度中四国家政学会にて発表した腕ぐりの幾何図形的考察における分類方法を基礎として, 類別し, 同型においても腕ぐりにおける肩線の交点が一樣でないので袖山の位置設定は前後の袖幅に差を生じること, 袖山の高さ